

為ノ案要ナル義ノ即允裁相成也義ノ一トモ既ニ詠
局ハ中委託相成候上局長等一層ノ勉勵スル右等條
裕ヲ得ルニ及候ニ後ニ付上申ノ面即聽許相成テ如
尤モ御慰勞等ノ儀ハ此際何分ノ御論議ニ成ル
先以右旨加義九通中指合也成テ此御意裁也

上申之趣印刷句積金軍費へ加ノ後
別處北赤軍備部へ收入可也計事

明治十六年十一月廿九日

修造院之回條

第百四十七號

第局

後附第五〇號

水雷并電氣及ノールデンフィール砲等ノ費
用渡方義裁上申

海軍省上請水雷并電氣燈及ノールデンフイ
ール砲等ノ代價及費用トシテ銀貨三拾萬圓
別途交付ノ儀御聞届金額渡方御達
相成候處該省上請文ヲ閱スルニ注文ノ年
ヨリ四ヶ年ノ後ニ非レハ皆製造ニ至ラサル趣ニ
候得目下一時ニ全額ヲ要スル筋ハ萬々無之仍
テ考按仕候處現金悉皆交付候テハ徒ラニ巨
額ノ金負ヲ備置ヘキ儀ニシテ實際不都合ト
存候間其期ニ臨ニ要用ノ金額時々為申
出渡方取計其相當年度ニ於テ決算

十六

相立候方可然ト存候條此旨該省へ御達相
成度此段及上申候也
明治十五年九月九日

大藏卿松方正義

太政大臣三條實美殿

上申ノ趣聞届候事

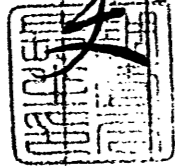
明治十五年九月三十日

送付三百七拾五ノ事
曾テ海軍省ヨリ上請セシ水雷兵器電氣燈
其他ノ器具用渡方ノ件頃自大藏卿ヨリ
上申ノ致候処其文中要旨之ニ準テ時々
為申出ト有之候義ニ付法務司之指テ逐右
者該省ヨリ之照會ニ隨テ具時々金銀支出
ノ積ニ有之候仍テ此後申渡シ並ニ也

大藏省

調査局長石渡貞夫

明治十五年九月廿日



太政官権大書記官大谷靖殿

大甲二四三号

明治十五年九月廿一日

大臣

内閣書記官

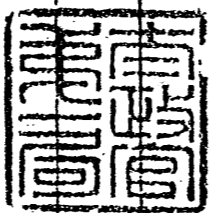
大藏省上申水雷並電気及ノールデン
ノールル碗等ノ費用渡方之事
右回議ニ供ス

参議

| | |
|----|----|
| 山縣 | 伊藤 |
| 井上 | 西郷 |
| 松本 | 山田 |
| 河村 | 大山 |
| 佐藤 | 齋藤 |

明治十五年九月廿一日

第一局



別紙大藏省上申水雷并電氣及ノールデン
イール砲等ノ費用渡方ノ儀ハ該費銀貸三拾
萬圓ハ一時ニ全額ヲ要スル儀ニモ無之故
支用ノ金貸時々為申出渡方取計其相當年
度ニ於テ決算相立度旨ニテ不都合無之ニ
付御間届相成可然哉左按ヲ付シ仰高裁候
也

御指令按

